

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 22 年 4 月 22 日 (2010.4.22)

【公表番号】特表 2009-531913 (P2009-531913A)
【公表日】平成 21 年 9 月 3 日 (2009.9.3)
【年通号数】公開・登録公報 2009-035
【出願番号】特願 2009-502179 (P2009-502179)
【国際特許分類】

H 0 4 L 12/44 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/44 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 3 月 8 日 (2010.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光ネットワークにアウトステーションを取り入れる方法であって、
前記光ネットワークは、
中央局と、
前記中央局に光学的に接続された複数の以前に取り入れられたアウトステーションと、
を有し、
前記光ネットワークは、
前記以前に取り入れられたアウトステーションからデータトラフィックが標準データレートで受信される標準動作状態と、
前記以前に取り入れられたアウトステーションからのデータトラフィックの送信が前記標準動作状態に対して制限される設定状態と、
で動作可能であり、
前記方法は、
前記光ネットワークが前記設定状態であるときに、前記アウトステーションを前記光ネットワークに取り入れる設定動作を実行するステップを含み、
前記設定動作は、取り入れられている前記アウトステーションから設定データを送信するステップを含み、
前記設定データは前記標準データレートに対して低減されたレートで送信される、
方法。

【請求項 2】

前記低減されたレートは標準動作レートの整数分の 1 である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記設定データは識別子情報を含む、請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記設定動作は、識別子が前記取り入れられているアウトステーションに関連付けられる登録動作である、請求項 1 ないし 3 の何れか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

レンジング動作は前記登録動作の後に行われ、
動作データは、前記取り入れられているアウトステーションによって前記標準レートで送信される、請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

前記光ネットワークは少なくとも 1 つの分岐ジャンクションを有し、

前記以前に取り入れられたアウトステーションからの信号は前記標準動作状態で前記分岐ジャンクションにおいてインターリーブされる、請求項 1 ないし 5 の何れか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

前記以前に取り入れられたアウトステーションからのトラフィックが前記中央局に実質的に到達しない少なくとも 1 つの休止期間を取り入れることによって、前記以前に取り入れられたアウトステーションからのデータトラフィックの送信が前記標準動作状態に対して制限される、請求項 1 ないし 6 の何れか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

中央局を有する光ネットワークで使用するアウトステーションであって、

前記アウトステーションは、

前記アウトステーションが標準ビットレートでデータ送信する標準動作状態と、

前記アウトステーションが前記標準ビットレートに対して低減されたビットレートでデータを送信する設定状態と、を有し、

前記アウトステーションは、前記中央局からの設定メッセージに、低減されたレートで送られるリターンメッセージで応答するように構成されている、

アウトステーション。

【請求項 9】

光ネットワークにアウトステーションを取り入れる方法であって、

前記光ネットワークは、

中央局と、

前記中央局に光学的に接続された複数の以前に取り入れられたアウトステーションと、を有し、

前記光ネットワークは、

前記以前に取り入れられたアウトステーションがデータを前記中央局に送信する標準動作レートを有し、

前記方法は、

前記中央局に取り入れられている前記アウトステーションから設定データを送信するステップと、

前記設定データを使用して、前記光ネットワークに前記アウトステーションを取り入れる少なくとも 1 つの設定動作を行うステップと、を含み、

前記設定データが、前記標準動作レートよりも低い低減されたレートで送信される、方法。